

内容	絶滅危惧種で全国でも有数の生息地である森林公園内で、実際に希少種のハッチョウトンボを観察し、その生態・生息環境などについて学習する。
ねらい	ハッチョウトンボの存在を知り、伊賀地域がいかに自然豊かな場所であるかを認識する。 そして、トンボといういきものを通して、森林・自然環境とのつながりや保全の大事さ、人との生活と結びついていることなどを知る。
学習効果	人間も自然の一部であるということを知り、いきものや自然に対するものの見方を変えることができる。
関連教科	理科
対象学年	小学校1～6年生
対象人数	10～20人(1班で) 2班まで
場所	三重県上野森林公園
時期	6～8月
進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハッチョウトンボについての予備知識 どの程度の認識があるか確認する。 2. 観察場所でのハッチョウトンボ探し 必要最小限の情報を伝えておいて(1.8～2cmの日本最小のトンボであることや、色・形など)実際に現地で探す。 3. 観察・発見情報の共有 観察してわかったことを発表し、皆で情報の共有をする。周囲の自然環境なども観察する。 4. まとめと感想 共有情報をまとめ、それ以外に必要な話を付け加える。 皆からの感想を聞く。 ハッチョウトンボを通して森と人とのつながりの話をする。 時間があれば、ハッチョウトンボの絵を描いて葉を作るか、木の枝でハッチョウトンボを作るなどして、記念に持ち帰る。

<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トンボはどんな生きものか、ハッチョウトンボはどんなトンボか考える。(回答は観察後にする。) ・トンボはどんな所で生きているか、ハッチョウトンボはどうか、その場所はどうして成り立っているか、なぜ希少種になったのか考える。(回答は全て観察後にする。) ・いきものと森や自然のつながり、人とのつながりを理解する。 ・まず、子どもたちが五感を使って考える。回答は最後にする。
<p>道具・材料</p>	<p>筆記用具</p>
<p>所要時間</p>	<p>60～90分</p>
<p>経費</p>	<p>なし</p>
<p>森のせんせい 氏名・団体名</p>	<p>三重県上野森林公園</p>
<p>住所</p>	<p>伊賀市下友生松ヶ谷1番地</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL 0595-22-2150</p>

